

【治安情報】

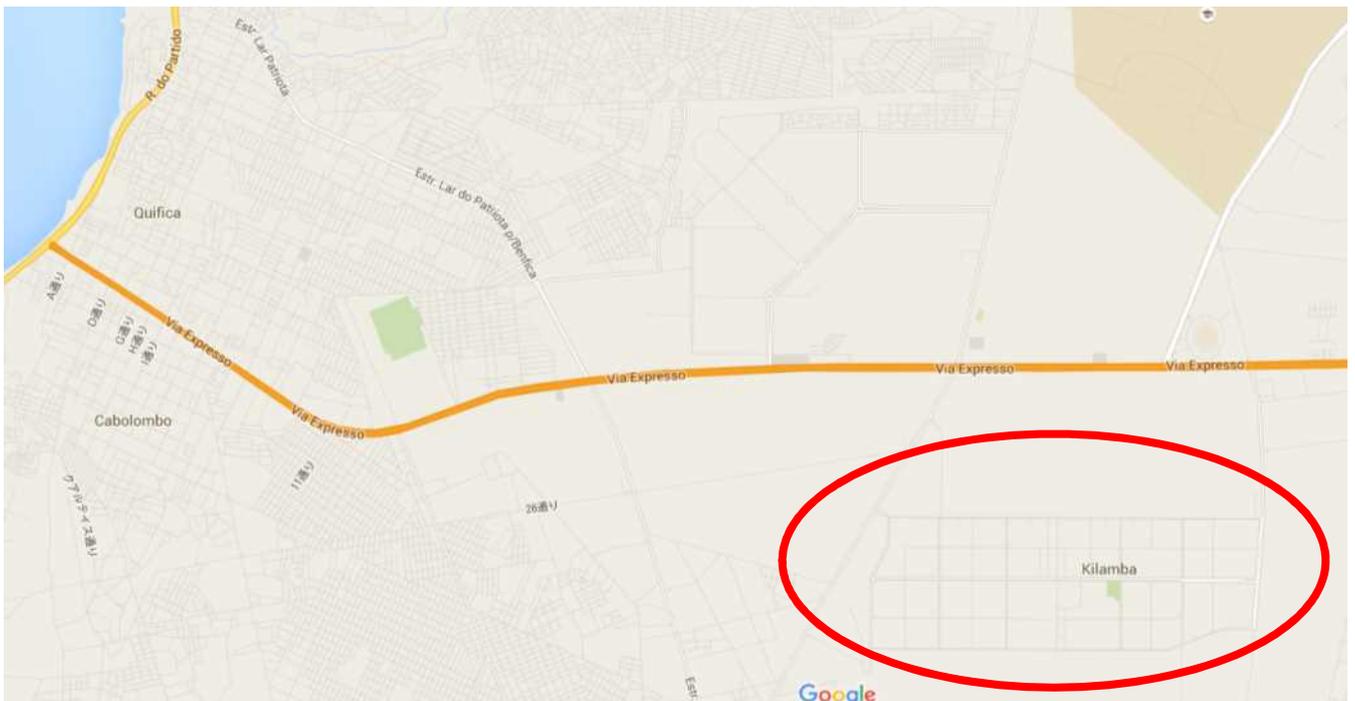
ルアンダ市その他周辺で発生している昨今の誘拐事件他について以下のとおり、御報告いたします。

1. レバノン系ベルギー人の誘拐事件

3月末、ルアンダ中心部の自宅に車で帰宅途中のレバノン系ベルギー人が、武装したグループに誘拐された。身代金（金額不明）を支払い、後に解放された。

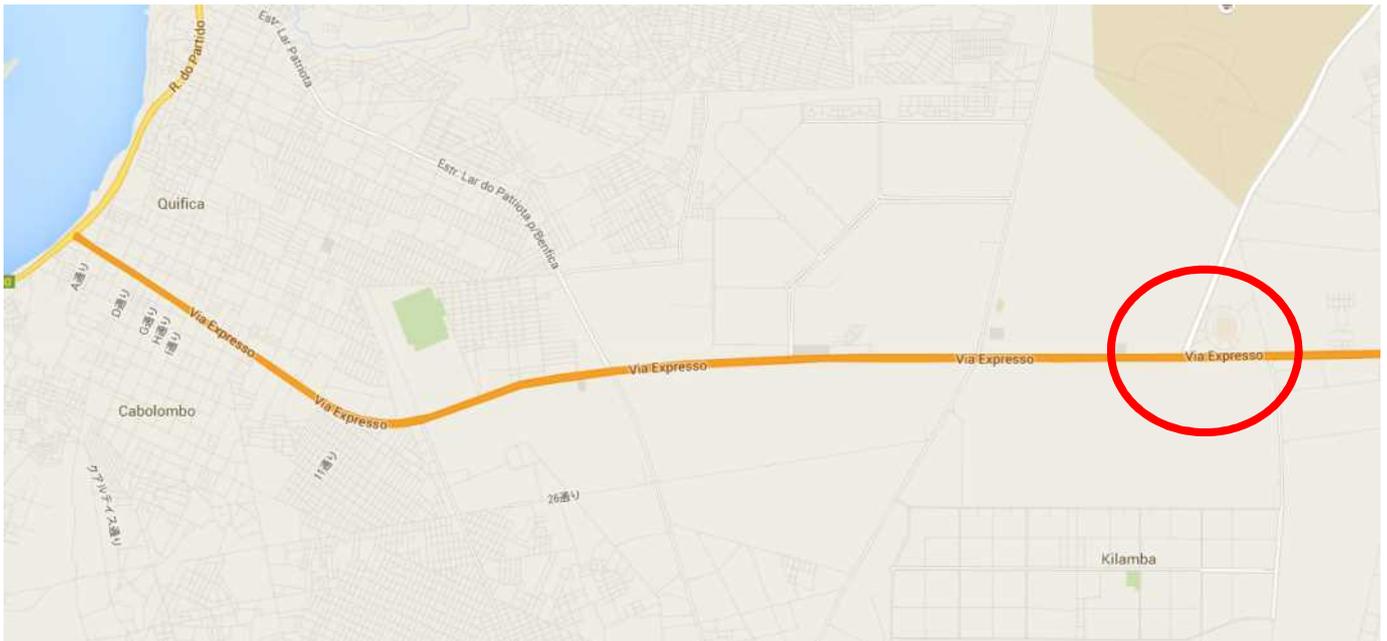
2. 中国人誘拐事件

4月18日（月）、Kilamba 地区において2名の中国人が武装した3人（同じく中国国籍）に誘拐され、身代金（金額不明）の支払後に解放された。



3. フランス人の誘拐事件

4月20日（水）の朝8時30分頃、Via Expresso の交通量が多い Estadio 11 de Novembro 周辺で誘拐され、4日間監禁された。身代金の支払後に解放された。ランダムにターゲットを狙って発生した誘拐事件ではなく、何時にどこを通るといったような情報を入手した巧妙に計画された事件とのこと。要求された金額は数十万ドル（金額非公表）とも言われ、現金で支払った。このような高額な身代金をドル現金で支払える企業や組織は限られているが、誘拐されたフランス人が勤める企業が支払い得るということも事前に十分計算されていた可能性がある。なお、犯行グループは非常に流ちょうな英語で交渉を行った。

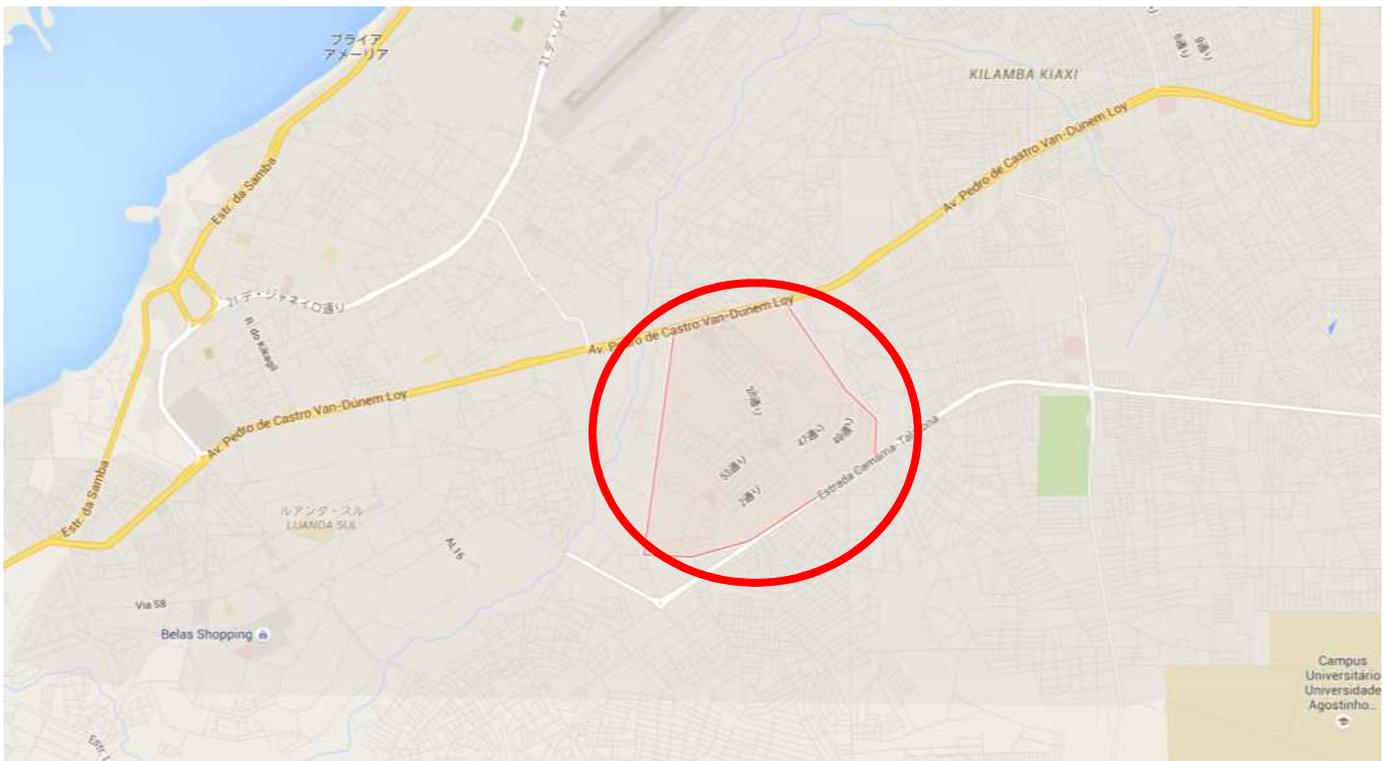


4. ポルトガル人夫婦殺害事件

4月26日（火）の夜8時頃、同じく Via Expresso（具体的な場所は不明）においてポルトガル人夫婦が殺害された。道路を車で走行中、急にカンドゥンゲイロが車の前に割り込み停車した。中に乗っていた男性3人が被害者の車に乗り込み夫婦を殺害。同乗していた子どもは無事であった。

5. アラブ系投資家の誘拐事件

（日時不明）Nova vida 地区在住のアラブ系投資家はアパートの玄関前で誘拐され、身代金三万ドルを支払い、4日後に解放された。



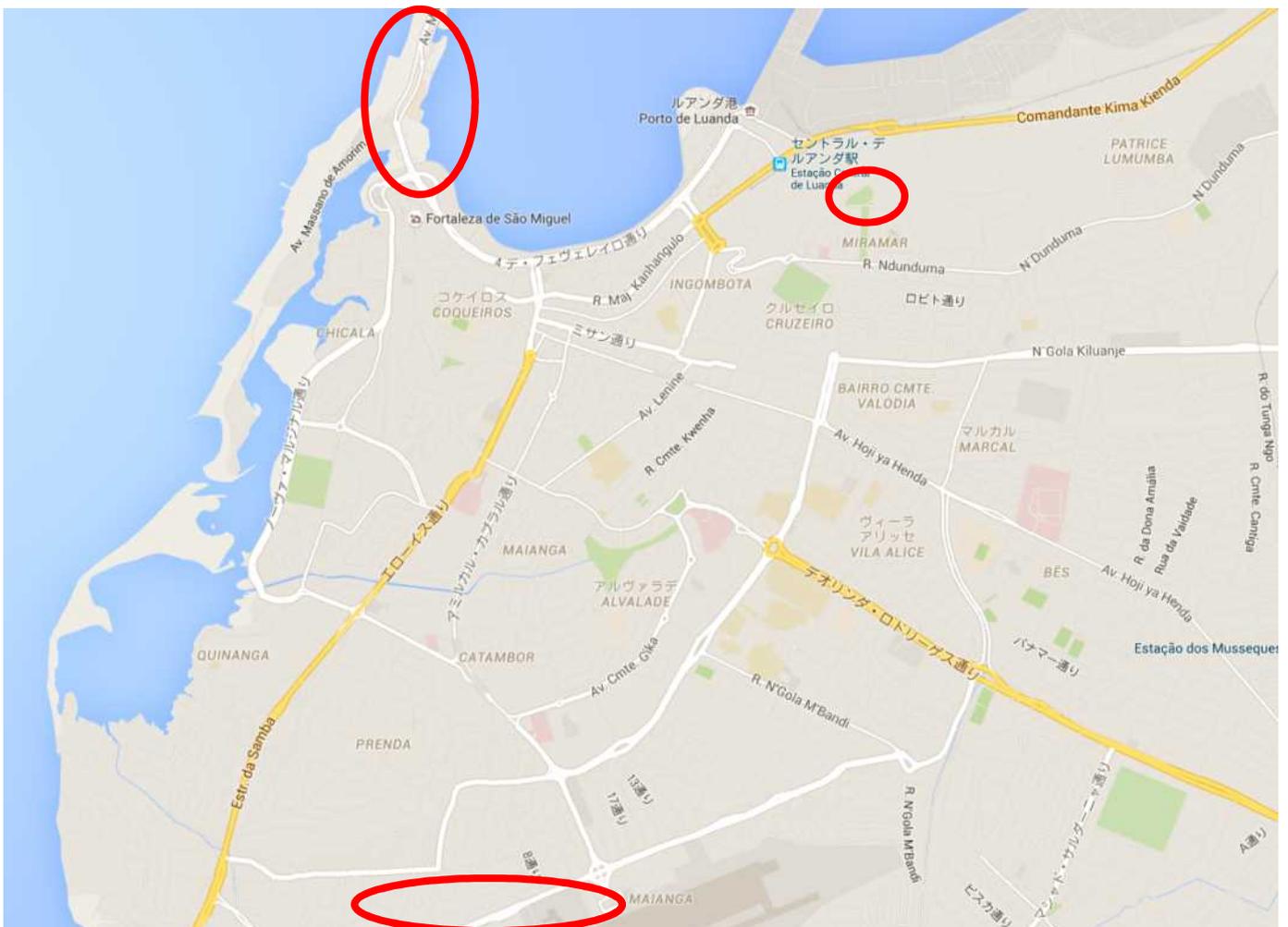
6. 空港周辺における自動車強盗

昨年、外交官3名が乗っていた車が空港周辺で停車した際に男性2人が車に乗り込んで1人は銃を向けて所持金を奪い、もう1人は外交官を乗せたまま数十キロ走行し、車から降りて二人とも逃走した。

7. ルアンダ市内における治安状況

以下の場所は強盗に遭遇する可能性が高く、一部では窃盗犯の潜伏先となっている可能性があるため、特に夜間に周辺を移動の際は十分注意してください。

- ・ Miramar 地区の軍施設（1° de Agosto-Clube dos Caçadores）周辺の林
- ・ ルアンダ空港よりの住居（バラック小屋）密集地区周辺
- ・ イーリャのレストラン周辺



昨今の不景気の影響から凶悪事件が増加傾向にあります。可能な限り事件発生現場付近は近づかないようにし、やむを得ない場合は複数人や複数車両で移動するように心がけてください。車両で移動する際は、乗車後は必ずドアロックをし、乗り降りの際は周辺を十分に警戒するようにしてください。また、イーリャ地区に限らずレストランに行く際は、可能な限り店の駐車場及び敷地内に止めるように心がけてください。